

## 情報通信行政に対する若手からの提言 ～総務省2.0に向けたロードマップ～

- 令和3年7月、総務省内に情報通信行政若手改革提案チームを設置。有志職員45名が参加、以下の6分野について提言。
- 提言を踏まえ、今後、組織・人材登用・働き方等の改革に関する検討を実施。また、政策に関する提言については、来年度概算要求や審議会・有識者検討会等における検討に反映。

### 情報流通・横断分野

「ポストコロナ」の新たな政策課題に迅速かつ適確に対応していくための「選択と集中」、体制強化を提言

- **情報収集・分析機能の強化**
  - 最新かつ正確な情報のチャンネル構築、調査・分析を通じて政策課題を共有
- **外部人材登用の推進**
  - (中堅・若手のための)メンター、「壁打ち人材」
- **現場主義の徹底**
  - 総合通信局等との一層の関係強化
- **本省部局の体制強化**
  - 部局横断的な政策課題に対し、プロジェクトベースでアジャイルな取組を可能とするための組織改革

### 技術・国際

不安定、不確実、複雑、曖昧化する社会に対応すべく、従来型に囚われない政策立案の必要性

- **技術開発・社会実装・国際展開を一気通貫で推進するための体制・環境、スキームを構築**
  - シーズとニーズの連携、海外展開支援の強化
- **課題解決に向けICT周辺技術の開発や未知領域に積極的にチャレンジ**
  - 日本版SXSWの開催、スタートアップへの出向、研究開発プログラムの柔軟化
- **コア領域の戦略的な人材育成、国際関係業務における「顔の見える関係」の構築**
  - 継続的・長期的な人材配置、人材育成の強化

### 通信・電波

100兆円規模の戦略的基幹産業。ナショナル、ローカル、グローバルの3つの視座、攻め(矛)と守り(盾)の2つの切り口から提言

- **より競争的でより透明な電波の割当ての実現**
  - 未来への責務、実現に向けて不断の制度見直しに取り組む
- **ブロードバンドのユニバーサルサービス化やより一層災害に強いネットワークの構築に取り組む**
- **ローカル5Gを通じて地域・企業のDX等を推進、成功事例を共有・展開**
- **安全保障の観点からも、宇宙・サイバー・電磁波(ウサデン)分野の取組を強化**

### 放送

放送を取り巻く環境変化に対し、「これまで」、「今」、「未来」を見据えた三本柱の提言

- **「頼れる」サービスの確保**
  - 複数者の分担による整備等ネットワークの柔軟な管理の仕組み、地域社会からの情報発信力の強化
- **「見たい」に応えるコンテンツ**
  - 多様化した視聴手段の取込み、コンテンツ力で勝負する新たなビジネスモデルの開拓
- **テレビの枠を切り拓く挑戦**
  - 視聴データ等を積極的に活用する「放送DX」、多種多様なコンテンツに対応する「ポータル化」の推進

### 郵政

急速なデジタル化の中で、時代を越えても郵便局が人々から必要とされ続けるために採るべき戦略を提言

- **郵便局版シュタットベルケ**
  - 郵政グループが保有するデータ等の資源を活かし、地域インフラ事業に参入
- **郵便局活用型デジタル人材派遣**
  - 地方公共団体に地域DXアドバイザーとして職員等を派遣。郵便局の場を活用した地方創生プロジェクトを主導する人材交流
- **郵政行政ダイアログ**
  - 適正な監督関係の下、情報共有・相互理解を促進するため、新たな対話の場を構築

### 組織風土・働き方

これまでの働き方改革・業務見直しに関する取組を踏まえ、情報通信行政に特有の観点から提言

- **業務環境の見直し**
  - テレワークを前提とした業務の徹底的なオンライン化、省内LANのさらなる改善(例:Web会議、「コラボツール」)、定型業務の効率化 等
- **モチベーションを向上させる人事制度改革**
  - 能動的なキャリア形成を積極的に支援、専門人材の育成強化 等
- **公平・公正な情報通信行政の実現**
  - 業務経験・知識の平準化、民間企業等との情報交換のためのネットワーク 等